

大会盛り上げた高校生たち

平成25年度別所公春祭り共催剣道大会

5月5日(日) 於 三木市民体育館

剣道

No. 163

5. 6月号

三木市剣道連盟
広報部
2013(平成25)年
6月30日(日)
発行

本年度最初の公式戦、「平成25年度別所公春祭り共催剣道大会」が、五月晴れの好天気恵まれ、主催別所公春祭り実行委員会、主管三木市剣道連盟で行われた。会場は三木市民体育館。参加選手は、市内の中学・高校の剣道部員全員も加えて151名だった。8時半から9時20分まで合同稽古で汗を流し、後開会式が行われた。大会委員長として挨拶に立った高橋洋三三木市剣道連盟会長は、4月27日・28日に県立東播磨高校で行われた「春季東播磨高校剣道大会」の観戦体験から、女子団体戦に出場していた隻腕の選手の奮闘ぶりを紹介しながら、「孤掌は鳴り難し」(片方の手だけでは、手を鳴らすことはできないように、人間は一人だけでは何事もなしえないこと)のたとえという諺があるけれども、「孤掌も鳴らせば鳴る

- 別所公春祭り共催剣道大会 (1, 2面)
- 高校東播、県大会試合結果報告・昇段者紹介 (3, 4面)
- 中兵庫少年剣道大会 試合結果 (5, 6面)
- 東播地区指導法・審判法講習会、東播地区協議会稽古会 (6面)
- 三木市級位認定審査会、トピックス(ひょうご生涯スポーツ大会、八木先生全日本大会出場、定期総会) (7面)
- 東播地区親善剣道大会組み合わせ決定、60周年記念講演会、月々の便り(8面)

◎本紙は三木市剣連HP <http://mikikenren2011.web.fc2.com/>でもご覧になれます。PDFでカラー印刷できます。



挨拶する高橋会長



北井副市長も激励

ののだ。」と、片手で胴をたいて拍手代わりにしたという63総体の選手の例をひいて、ハンディキャップを工夫で乗り越えたこの女流選手らの勇気を称えた。続いて来賓祝辞に立った北井進一郎副市長は、この話を受けて自分も幼少より視力に障害を持っていたと打ち明けつつ、自らを励まし勇気を蓄え、それをばねにして今日まで生きてきたいきさつを淡々と話された。少年少女を含む選手全員が静粛に聞き入った。

選手宣誓
は口吉川少年剣道教室の十都正輝君が元気に勤めた。
生田龍平(別所)強敵橋間祐仁(吉川)を降す
試合は10時から始まり、全試合が個人戦のリーグ戦。それ故試合数が多く時間がかかった。
小学4年生女子の部は、9名が出場。3名1組の各ブロックを勝ち上がったのはすべて志染の選手だった。
小学5・6年生女子の部も同じく9名が出場。優勝は吉川の山田真実、2位に中央の加村仁奈、3位が口吉川の末広美幸だった。
小学4年生以下男子の部は35名の争い。抜け出したのは、加村蓮



宣誓する十都選手

【中央】、倉津翔雅(剣修会)、味地晃明(吉川)平井優太郎(志染)で、各教室仲良く入賞者を分け合った。

小学5・6年男子の部は、27名の争いだ、各教室自慢の強敵揃い。なかでも吉川勢に他の教室が



熱戦の様子

どうか注目されたが、各コートから上がったのはA生田龍平(別所)、B石田真大(自由)、C橋間祐仁(吉川)、D中本紫那(別所)の4名だった。決勝は生田、橋間の間で戦われ、両者譲らずそれぞれ1本ずつ取った後延長にもつれ込み生田が追いつがる橋間を退けた。

昼食をはさんで、中学生・高校生の試合がおこなわれた。

中学生男子の部は吉川勢が他の自由中・三木中の剣道部を寄せ付けず上位を独占した。自由中の横山暖(2年)が挑戦したが、吉川の石原颯一朗に及ばなかった。

高校男子の部

山口優輝大会連覇

高校生男子は31名がエントリー。当日のくじ引きで相手が決まるので、誰と当たるかが楽しみだ。この人数で全試合リーグ戦であるから、自ずと時間がかかる。加えて半端な打ちで決めが悪く一本にならないためにいたずらに時間を食った。

その混戦を抜け出したのは山口優輝(小野)、宮崎裕季(三木)、三枝康弘(三木北)、石田諭史(三木)の4名。内、山口と三枝の元自由中勢は昨年この大会での入賞者で試合巧者だ。先の春季東播大会で個人戦ベスト8の三木高堀翔太郎(3年)も姿を消した。決勝戦は昨年準優勝の三枝康弘を長い試合の末降して勝ち上がった宮崎裕季(三木高3年)と昨年1年生で覇者となった山口優輝



喜びの山口選手(右端)

(小野高2年)の争いだだったが、三枝との長い戦いで力尽きたか、宮崎突かれて山口に2本負けした。

高校女子の部

杉本香菜も同じく連覇

大会最後の恒例「東西対抗戦」は、各教室、剣道部から選ばれたライバルたちが東西に分かれて対戦した。今年は東軍9勝、西軍7勝で東軍に凱歌。

閉会式では、審判長として講評に立った小椋治朗審判長(教士7段・成人指導部長)は、大会を盛り上げてくれた高校男子の活躍をたたえつつ、



小椋審判長講評

「一足二刀の間合いから、一拍子で、打ち切る」という剣道の基本をもっと大切にした打突を期待したい。と注文を付けた。

本大会は大会企画部の方針もあって全試合リーグ戦であったため、大変時間がかかり、役員、審判団もくたくただったが、選手・

役員に加えて、応援の保護者、家族も多数詰めかけ、最後まで試合に注目、応援したため体育館いっぱい盛況だった。

各部入賞者は次の通り

- 【4年生以下女子】①照井葉生(志) ②寺口ひかる(志) ③粟田胡春(志)
- 【4年生以下男子】①加村蓮(中) ②倉津翔雅(剣) ③味地晃明(吉) ③平井優太郎(志)
- 【5・6年女子】①山田真実(吉) ②加村 仁奈(中) ③末廣美幸(口)
- 【5・6年男子】①生田龍平(別) ②橋間 祐仁(吉) ③石田真大(自) ③中本紫那(別)
- 【中学女子】①内村友美(自) ②三藤暢子(吉) ③森岡愛美(緑)
- 【中学男子】①石原颯一朗(吉) ②横山暖(自) ③浅井優輔(吉) ③橋間祐生(吉)
- 【高校女子】①杉正香菜(東) ②藤田侑美(北) ③田正司祐奈(北)
- 【高校男子】①山口優輝(小) ②宮崎裕季(三) ③三枝康弘(北) ③石田諭史(三)

堀翔太郎(三木高)ら、3人県大会出場権

—東播高等学校春季剣道大会—

4月27、28日 於:県立東播磨高

平成25年度の高校剣道の試合が、春の東播大会を皮きりに始まった。「平成25年度東播高等学校春季剣道大会兼県総体地区予選大会」が、4月27日(土)男子個人、女子団体、同28日(日)女子個人・男子団体と2日間、県立東播磨高等学校体育館を会場に行われた。両日ともに好天気に恵まれ、絶好のコンディションだった。

初日の男子個人戦では、三木地区から7名が出場した。

三木高の堀翔太郎選手は、緒戦西脇工高の山川繁晃選手を降し、2回戦では加古川東高の強敵、森中丈瑠選手を接戦、延長で破り、次いで北条の千古明佳選手をも降してベスト8に進出した。続く明石高河端達也選手に時間切れ5秒前に一本負けを喫し、惜しくも入賞できなかった。が、県大会個人戦出場権を獲得した。県大会出場

権はベスト16以上出場者79名中。三木から県大会個人戦出場権を得たものの次の通り。

衣笠和輝(三木北)
山口優輝(小野)、
堀翔太郎(三木高)

女子団体戦は18校がエントリーし、三木からは唯一三木北高チームが出場した。予選リーグでは、高砂南(3位)、明石城西(2位)、明石南という強豪チームのブロックに入り、しかも選手3名(5名編成というハンディを背負っているため勝ち目はなかった。

三木地区は、女子選手がいない三木高、チームが組めない吉川高、三木東高を含め、女子選手の育成が大きな課題である。ちなみに小野高は5名のチームが組んでいる。

三木・三木北1本に泣く 両校入賞ならず

翌28日(日)は女子個人と男子団体戦。メンバーがそろった三木高・三木北高が団体に出場した。三木高剣道部は、先の「三樂」の大会優勝に弾みをつけ、久方ぶりの入賞を目指したが、予選リーグ戦、播磨南を3-1で降したものの、高砂南に1-1の本数負けを喫し、リーグ2位になった。

一方、三木北も、松陽・東播工を一方的に破ったが、加古川西とは本数差で敗れ、これまた2位に甘んじた。

女子個人戦に出場した三木東高の杉正は5回戦まで勝ち上がり、ベスト8で県大会出場権を得た。

今大会への武中先生(三木高校剣道部顧問)のコメント。

「昨年度は個人戦の予選通過者はゼロでしたが、今年度は男子2名、女子1名の計3名がベスト16以上に入り、県大会出場権を獲得しました。なお、県大会では予選通過

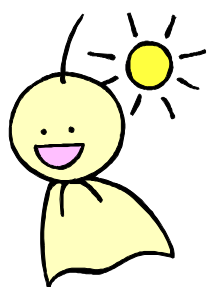
者に加え、各校オープン枠として男女各1名が参加できます。

女子団体は三木北が数年ぶりに出場しましたが、3名のハンディは大きく、予選リーグは4位という結果でした。

男子団体は三木、三木北ともに上位進出を狙っていましたが、念願の入賞は今回も達成できませんでした。

今回の大会を通して、三木勢の中には個人戦、団体戦ともに上位進出者(校)と互角に戦える技術、体力面があることを感じました。

その反面、勝負どころでの粘りや強さやチームとしての力不足も感じました。これがあと1本の差勝(敗)につながっており、あと1本で結果が大きく変わることを痛感しました。県大会まであと1カ月ですが、1本にかける精神力の強化を課題に稽古に励みたいと思います。」



三木北高4回戦進出、男子個人も健闘

―平成25年度兵庫県高等学校総合体育大会剣道大会

第57回兵庫県高校総体・第61回

県高校剣道大会・第60回全国高校

剣道大会県予選大会兼第51回近畿

高校剣道大会県予選大会は、6月1

日(男女個人戦)、6月8日(女子団体

戦)、9日(男子団体戦)が兵庫県立武

道館姫路で行われた。

三木市内4高校は揃って出場、

東播大会での予選の成果をひっさ

げて勇躍参戦した。

1日に行われた個人戦では、東

播地区予選を勝ち抜いた(ベスト

16)男子、北高の衣笠、三木高の

堀、女子東高の杉正らが出場した

外、各校オープン枠を利用して、

計男子5名、女子4名が出場した。

男子238名、女子212名の出

場者の中で結果は以下の通り。

○三木 福田、堀(2回戦進出)

○三木北 衣笠、中谷

(3回戦進出)

女子 田正司 (緒戦敗退)

○三木東高 深木 (3回戦進出)

女子 杉正、西尾

(2回戦進出)

○吉川高 女子 藤原(緒戦敗退)

団体戦は男女ともオープン参加

3年目で、今年度は男子144校、

女子93校の参加だった。

8日の女子団体戦では、三木北

高のみがチームを組み、1回戦神

戸商業を2-0で降し、2回戦に

進出したが、西宮東に1-3で敗

れた。

最終日の9日(日)は男子団体戦。

期待の三木高は2回戦強敵神港学

園を3-2の接戦で斥けたものの、

3回戦で県立大付属高に0-1で

惜敗した。北高は、2回戦、灘高

を5-0で一蹴、勢いに乗り3回

戦姫路南を4-1の大差で破り4

回戦に進出したが、東洋大姫路高

に0-3で敗れ、ベスト32にとど

まった。

今回の大会に対する武中敏彦先生

(三木高校のコメント)。

「男子の団体戦は、三木北がベスト

32となり、個人戦に関しては男子

の部で3名が3回戦に進出しました。

団体戦、個人戦ともに今年度も期待

していた上位進出はなりませんし

た。しかし、全体的には昨年度の成

績を上回っており、今後に期待した

と思います。

この大会で3年生は一線を退き、

2年生中心の新体制となります。

次の大きな大会は夏休み後半の8

月24日に行われる県民大会です。

それまでに各校、合宿や合同練習

など積極的に行い、今回の総体以

上の結果を報告できればと思いま

す。なお、1年生女子部員の入部

により、秋からは三木北高に加え、

三木東高も、吉川高も団体参加で

きそうです。」

昇段者紹介

(3段以上・6月30

日現在一般会員のみ)

おめでとうございます

6段 木村文教

(5月12日・名古屋)

5段 川原 正

(2月24日・王子)

5段 石田 隆

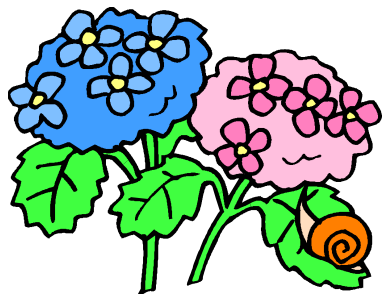
(4月21日・王子)

4段 中谷 忠資

(2月24日・王子)

山口 直輝

(4月21日・王子)



吉川剣道少年団チーム 岡坂和奏 優勝に貢献

第41回中兵庫少年剣道大会 団体中学生の部

5月26日(日)多可町健康福祉センターアスパルで、「第41回中兵庫少年剣道大会」が、主催多可町少年剣道育成協議会で行われ、三木からも6教室が参加した。

早、41回を迎えるこの大会は、もともと国道175号線沿線の少年剣道団体に呼び掛けて始められたものだが、現在では三田・西神などからも参加チームがあり、今回も団体で33、チームで小学生39チーム、中学生26チーム、女子個人113名(小低学年36、同高学年35、中学生42)が参加する大会に育っている。

試合は、女子個人戦から午前10時に始まった。全試合がリーグ戦で、出場者は二度以上の試合チャンスがある。それだけ時間がかかるのであった。三木からは、低学年4人、高学年4人、中学生2人と、女子選手の参加は目立って少なく、いずれも他市、他地区に圧倒されて目立った成果はなかった。唯一吉川の三藤暢子が、中学生の部で3位に入った。

女子個人戦が終わると、6コート一斉に団体戦が行われた。

小学生の部には、三木から6教室7チームが出場した。期待第一の「別所」チームは、いきなり最有力の己勝館A(昨年度優勝)と同じリーグ内に居り、籤運の悪さに泣いた。しかし、本年度も2連覇を果たしたこのチーム相手に一歩も引かず善戦した。2-2と互角の勝負をしたが、1本差で敗退し、決勝トーナメントに進むことができなかった。

2チームを出した「緑が丘」、吉川、自由が丘は、予選リーグから上がる事ができず、「志染」はかつての名門「西脇」を破って勝ち上がったが、最近成長著しい「西神栄」チームに完敗した。三木市で唯一ベスト8に残った「三木中央」も、「小野柳心館」に敗北し、三木勢は全体に振るわなかった。

中学生団体の部は、1チーム3名編成で、26チームが優勝を争った。第38回・第39回と連覇したが、昨年度「己勝館A」に決勝で負けた「吉川剣道少年団A」はリベンジを果たそうと静かに燃えて

いた。「吉川A」は先鋒岡坂和奏(3年)中堅橋間祐生(2年)、大将浅井優輔(3年)の最強メンバーで固めていた。



中学生の部で優勝した吉川A
鋭い攻めの大將浅井 (中央)

予選は4チームのリーグ戦。「氷上A」に3-0、「春日台」に1-0、「羽束」に2-0で予選を通過した後、準準決勝で「北条A」を3-0で降し、準決勝では最近勢いに乗る「三田尚勇館A」を2-1で斥けた。

決勝戦は、これも三田「つつじが丘」チームと。先鋒岡坂コテの1本勝ち。続く中堅橋間はメンを先取し、メンで取り返されたが、見事なメンで再度勝ち、これで勝利が確定した。

男子で固める多くのチームにあつて、女子で先鋒をつとめた岡坂和奏は、全試合、引き分けなしの負け知らず、すべて勝つて、

チームの優勝に貢献した。

その見事な足捌きと体を捨て切つて放つ跳び込みメ

優勝に貢献した吉川Aの先鋒岡坂選手

ンには目の肥えた高段者をもうならせるものがあつた。



昨年度の雪辱を果たし、優勝した吉川剣道少年団の中学生Aチームと指導陣

(報告高橋洋三)

中田新 8段講師に

平成25年度東播地区剣道指導法・審判法講習会

平成25年度の東播地区剣道指導法・審判法講習会は、6月2日

(日)、昨年8段に合格された気鋭の中田善幸剣道8段教士を講師に、滝野総合公園体育館スカイピアを会場に行われた。

東播地区からは、補助員として、蛭子稔、高須賀宏光、繁田勇人、松浦征伸、住野展彦の各氏が指導に当たった。三木市からは小紫名誉会長以下13名が参加した。(総参加数約70名) 明石市からの参加者が、同市の市民大会と重なったためゼロであつたにもかかわらず、会場が狭く感じるほどの盛況だった。

講習会は例年行われてきた、「西日本中央講習会」の内容伝達とは少し趣を異にしていたが、「木刀による剣道基本稽古法」が

講習実技に取り入れられていたこととは好評だった。

小椋治朗成人指導部長の感想。

「『自分の教え子が1級を受けらるから覚えた』では、形、格好、順番を覚えたにすぎません。自分の剣道、剣道の技に活かせるまで、内容を精査し稽古したいものです。」

12名が稽古会に参加

東播地区協議会・稽古会(於加東市)

雨模様の天気予報に反し、少し汗ばむくらいさわやかな好天気の下、兵庫県剣道連盟東播地区稽古会が、加東市滝野総合公園体育館で、午前10時から11時半まで

行われ、東播8市から総計62名の剣士が集まった。

我が三木剣連からも、森下哲次副会長以下12名が参加し、たっぷり汗をかいた。

当日、西川正行東播地区協議会長より、来る6月30日、王子スポーツセンターで行われる「地区別剣道交流大会」に出場する東播地区代表チームのメンバーが発表され、三木からは小椋治朗先生教士7段、市剣連成人指導部長が、他の選手と共に紹介された。



地区別剣道交流大会メンバー
(右から2番目が小椋選手)

第102回 三木市剣道連盟 級位認定審査会 50名が合格

第102回三木市剣道連盟の級位認定審査会が、三木コミュニティスポーツセンターにおいて開催されました。

三木市剣道連盟高橋会長より開会の挨拶があった後に審査が始まりました。この審査会では正しい剣道をしているかを審査しています。各教室の先生方からの教えを守り、各自の良い所を見出すようにしています。

ところで、受審者についてですが、50名超となりました。最近、増加傾向ではありましたが、50名という大台となったのは久しぶりです。最近の受審者変動については別表をご覧ください。特に、5級・4級の受審者が増加しています。これは、少子化傾向が続いて

級別合格者数

2級	5名
3級	10名
4級	15名
5級	20名
計	50名

いる中で、新たに剣道を始める子どもたちが増加していることを表しています。三木市剣道連盟にとっては非常によいことです。この昇級審査では、「木刀による



田畑修先生による2級合格者への「木刀による剣道基本技稽古法」の講習の様子

る剣道基本技稽古法」の講習（2級・3級）も行っております。この稽古法について、各教室で指導

を強化していただきたく、各教室の指導者に対しても稽古会を開催しております。是非とも多数参加下さいますようよろしくお願い致します。

また、昇級審査会後に合同稽古会を最近行っています。この合同稽古についても参加者が増加しており、定着化しつつあります。今後とも、各教室の協力を宜しくお願致します。

（少年指導部 大柴 記）

トピックス

ひょうご生涯スポーツ

大会総合開会式に出席

5月25日(土)、地元、防災公園ブルボンビーンズ・ドームで行われた「第8回ひょうご生涯スポーツ大会」開会式に、三木市剣道連盟は、県剣道連盟の要請に応じ、他の36団体と共に、参加しました。

朝10時から始まった総合開会式には、森下哲次副会長を団長に、小紫名誉会長と昔の剣道仲間、少年剣道教室の育成会員、連盟会員ら約20名が、県剣道連盟の旗を先頭に、整列しました。デモンストラクション演技として、ローリン

グバレーボール連盟と、スポーツチャンバラ協会が試合の一部を披露し、大きな拍手を浴びていました。

八木先生(三木東高剣道部顧問)全日本都道府県対抗剣道優勝大会に出場

去る4月29日(月)・祝大阪府中 央体育館で開催された「第61回全日本都道府県対抗剣道大会」に三木東高校剣道部顧問、八木啓介先生は、兵庫県代表チームの中堅として出場されましたがチームは緒戦、神奈川県チームに敗れました。

平成25年度市剣連

盟期総会開催

去る6月9日(日)午後2時から、三木コミュニティスポーツセンタースタツフルームで、平成25年度定期総会が21名が出席して開催されました。

昨年度の事業並びに決算報告、本年度の事業計画、予算案が提案され、可決されました。

教室別合格者数

中央	9名
緑が丘	14名
志染	13名
自由が丘	5名
別所	2名
剣修会	7名
計	50名

東播地区親善剣道大会 組み合わせ決定

来る8月18日(日)に、滝野総合公園体育館スカイピアで行われる、東播地区親善剣道大会の組み合わせが決定しました。当連盟も選手を決定し、強化練習を計画。悲願の初優勝を目指します。

第1試合場				第2試合場				第3試合場				第4試合場			
①加古郡 A	②西脇市 A	③三木市 A	④加西市 A	⑤高砂市 A	⑥小野市	⑦明石市 A	⑧加古川市 A	⑨高砂市 B	⑩加古川市 B	⑪明石市 B	⑫小野市	⑬加西市 B	⑭三木市 B	⑮加古郡 B	⑯西脇市 B

60周年記念行事

剣道だよりのDVD、記念講演会を計画

本年度、三木市剣道連盟は60周年を迎えます。連盟では、記念誌等は発行せず、三木市剣道連盟広報部が発行した剣道だよりを電子化、DVDを作成します。

また、来る9月1日(日)に吉川総合公園パストラルホールで行われる恒例の剣道指導者講習会を、60周年記念講演として実施。慶応義塾大学剣道部師範全日本剣道連盟専務理事、福本修二範士八段を



お招きして講演会及び合同稽古を行います。近隣及び関係各団体にも呼びかけて、これからの剣道を展望する貴重なお話を拝聴できることとなります。またとない機会ですので、連盟会員各位の多数の参加をお願いします。

月々の便り

夏五景風

波止場のベンチに 朧月

青い目をした お人形

波止場のベンチに 朧月

レインコートの人影

波止場のベンチに 朧月

カサブランカか モロッコか

波止場のベンチに 朧月

波間に揺るる 鯉のぼり

波止場のベンチに 朧月

波間に揺るる 鯉のぼり

波止場のベンチに 朧月

喜び顔なる 赤い靴

波止場のベンチに 朧月

喜び顔なる 赤い靴

丹野 骨平

早夏景描

臯月色増す つゆの月

衣桁に架かる 夏衣裳

臯月色増す つゆの月

流し新内 三味の風

臯月色増す つゆの月

昼の螢を 見つけたる

臯月色増す つゆの月

昼の青も 濃く映ゆる

臯月色増す つゆの月

植うる側より 蛙啼く